

# 熊本電鉄5000形

## 共通組み立て説明書

### 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイ お客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

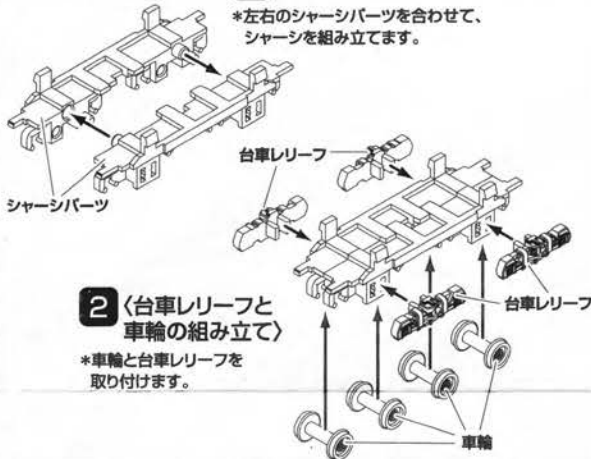
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

### シャーシの組立て

### 1 <シャーシの組立>

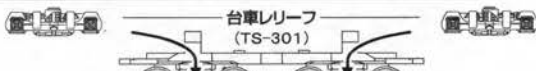
\*左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



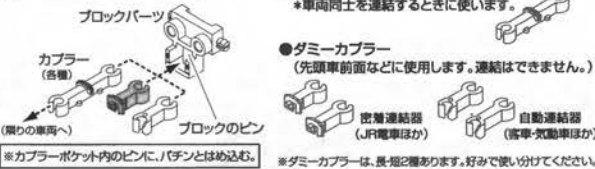
### 2 <台車レリーフと車輪の組み立て>

\*車輪と台車レリーフを取り付けます。

### 台車レリーフの向きに注意。



### カプラーの取り付け方



- ドローバー  
\*車両同士を連結するときに使います。
  - ダミーカプラー  
(先頭車前面などに使用します。連結はできません。)
  - 密着連結器 (J形電車ほか)
  - 自動連結器 (両車・気動車ほか)
- \*カプラーポケット内のピンに、バネとはめ込む。  
\*ダミーカプラーは、長短2種あります。好みに使い分けてください。

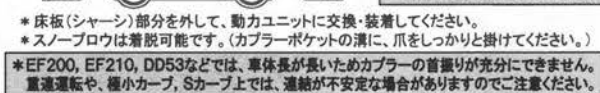
## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

\*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

\*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。
- 通常色(黒)と、グレーがあります。
- \*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- \*スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- \*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が充分できません。重連運転や、種小カブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。



### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット②・電車・気動車用」もしくは「同 動力ユニット③・路面電車用」を使用します。
- \*左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- \*ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。



- \*イラストは「動力ユニット②・電車・気動車用」です。「動力ユニット③・路面電車用」には前後のカプラーはありません。
- \*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- \*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- (追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車④」を使用します。
- \*付属の床板パーツを使用して、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- \*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- \*旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。
- \*台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- \*スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- \*新幹線など車体裾にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- \*SGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- \*先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。

### ■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- \*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- \*Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- \*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

### ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください)

- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- \*EF64、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。
- \*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

### ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
- 品番11-104 チビ客車用動力ユニット
- \*「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取る必要もあります。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)
- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

### ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
  - 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
  - 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
- このほか、割りピン取り付け方式の各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

- \*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
  - KATO:11-401 PS14:直流/パンタグラフ
  - KATO:11-403 PS22:直流・下幹変形パンタグラフ
  - KATO:11-404、11-420 PS16:直流/パンタグラフ
  - \*11-420は、屋根穴が4箇所の重畳に対応します。
  - グリーンマックス:80-2:PS13:直流パンタグラフ
  - グリーンマックス:80-3:PT42:直流パンタグラフ
  - グリーンマックス:80-5:PT43:直流/パンタグラフ
  - クロスポイント:PT71C:シングルアーム/パンタグラフ
- このほか、取り付けピンが2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

- \*各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる場合があります。それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- \*動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

### 車体の組立て

①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。

\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。



②屋根を取り付けます。  
(パンタグラフを取り付けます。)

③妻板(増設運転台)を取り付けます。

④左右の側面を取り付けます。

⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。

⑥前面を取り付けて完成です。

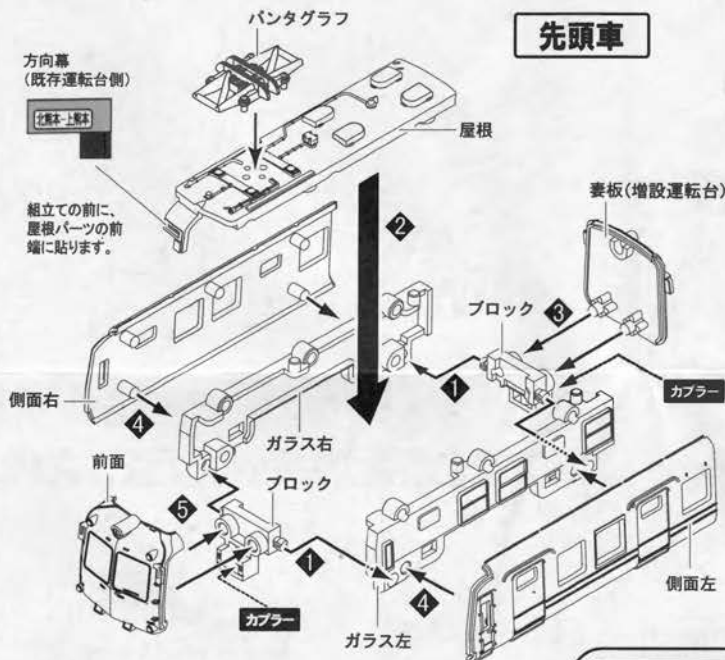
⑦カブラーを最後にブロックのピンに取り付けます。

ラッピング車の場合、側面とガラスはあらかじめ組み立てた状態となっています。  
この場合、④の工程は飛ばしてください。

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。  
\*また生産の都合上、予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

### 先頭車



### 熊本電気鉄道株式会社

明治42年8月15日に創立した熊本で唯一の民間の鉄道会社で、地元では菊池電車と呼ばれて親しまれています。路線は2路線(13.1km)の運行で、朝夕は15分間隔、昼間帯は30分間隔での運行を行ない、利用者の多くは通勤・通学が殆どの都市型の鉄道会社です。鉄道部門の保有車両数は14両(8編成)であり、その全てが東京や大阪で活躍した車両で、第二の人生を熊本で送っています。



熊本電鉄5000形電車は、元東急電鉄で活躍した車両で、鉄道ファンには根強い人気があります。東急電鉄時代から「青ガエル」という愛称を与えられ、軽量モノコック構造の車体で下膨れの愛くるしい顔が特徴です。熊本電鉄の「青ガエル」はワンマン運転用に両運転台化され、前後で違う顔を持っています。

その「青ガエル」も全国の鉄道会社で活躍をしていましたが、現在でも営業運転を続けているのは熊本電鉄のみとなりました。2両が在籍し1両にはケロロ軍曹がラッピングされ、もう1両は東急電鉄時代の緑色一色の「青ガエル」そのままです。北熊本駅から上熊本駅間の3.4kmで運行されています。双方の車内は、いまだに天井に扇風機が回り、東急当時の網棚やつり革が残り、昭和の時代にタイムスリップした感覚を体験出来ます。



### ステッカーの貼付け位置

貼り付け位置の参考例です。台紙から好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。  
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)



### 実車の編成例

\*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
\*記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。



ケロロ軍曹・ラッピング電車  
(2012年10月より)

2004年に、東急時代の緑色に塗装変更されました。同時にATS取り付けにより、車号にAが追加されています。

現在、上熊本駅～北熊本駅間の折り返し運転に活躍中です。

ケロロ電車は、北熊本駅～上熊本駅間を月曜日を除く毎日(月曜日が祝日の場合は火曜日を除く)に運行中です。  
(整備・点検等で運休の場合もありますのでご注意ください。)

## 車体番号

5101A	5102A
5101A	5102A
5101A	5102A
5101A	5102A
5101A	5102A

## 扉締切表示



## ケロロ電車・エンブレム



増設運転台・ワイパー  
(5101A:右, 5102A:左側の窓)



## 方向幕・既存運転台側(屋根パーツの前端に貼ります)

ワンマン表示  
(定置下)



## 増設運転台側(5101Aと5102Aでは貼るガラスが違います)

### 5101A

(向かって左の窓)



### 5102A

(向かって右の窓)

